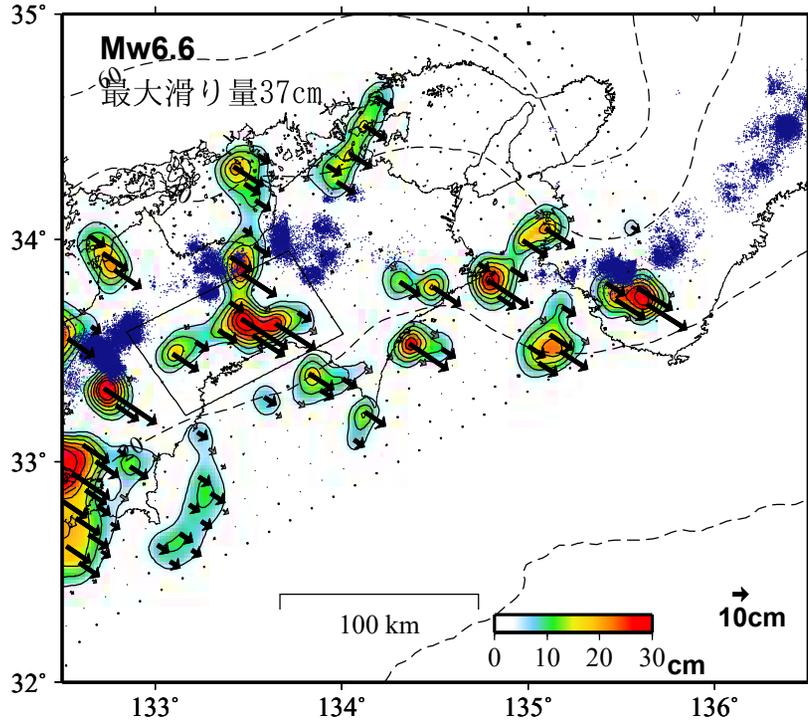
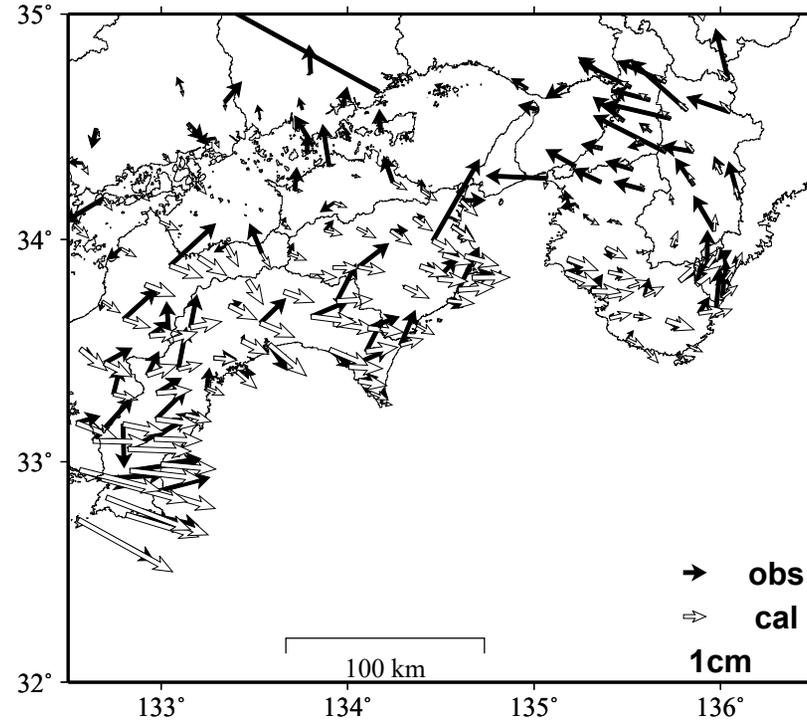


GNSSデータから推定された
四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

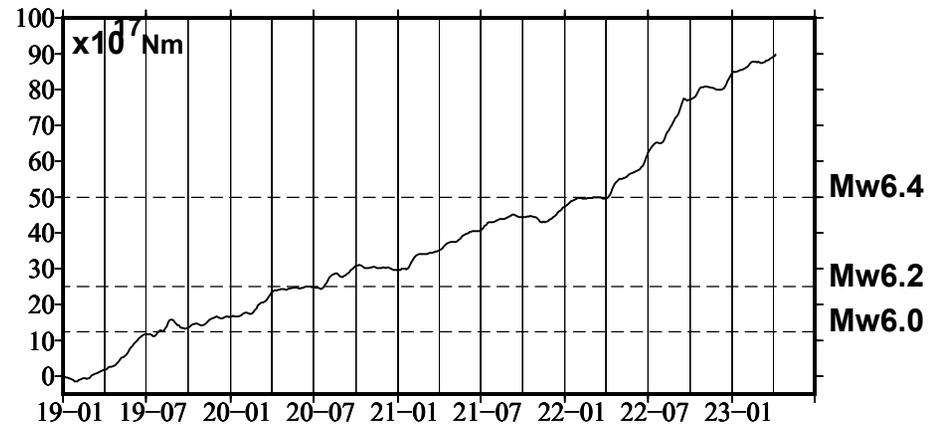
推定すべり分布
(2019/1/1-2023/4/7)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2019/1/1-2023/4/7)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。
使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)
F5解(2019/1/1-2023/03/25)+R5解(2023/03/26-2023/4/7)
トレンド期間: 2017/4/1-2018/4/1(年周・半年周成分は補正なし)
モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)
すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束
青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)(期間: 2019/1/1-2023/4/7)
固定局: 上対馬



*電子基準点の保守等による変動は補正済み
*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している (Suito, 2017, 水藤, 2017)。
*気象庁カタログ(2017年以降)の短期的SSEを補正している。